



2023.8. No.64

夏季号



七夕に願いを込めて
(特別養護老人ホーム 桜井の里)



バーベキュー会にて
(グループホーム 我が家)



見附イングリッシュガーデンにて
(地域生活支援施設 つどい)



子供神輿と一緒に
(生きがい広場地蔵堂)

桜井の里福祉会は地域に育っていただき、現在があります。これを風化させることなく次世代につないでいくことは、今、我々の使命であると考えます。引き続き皆さんのご支援ご協力をよろしくお願いいたします。

少子高齢化と人口減少などが続く中で、社会福祉法人の経営は難しさ、厳しさが増しているからこそ、桜井の里福祉会はとことん地域と共にありたいと考えています。当法人が地域の役に立っているか、私自身が地域の役に立っているかを常に考え、今後の法人経営に邁進してまいりたいと思います。

桜井の里福祉会は1994(平成6)年、特別養護老人ホーム桜井の里を弥彦村麓の地で、40人余りの職員と共にスタートし30年目を迎えました。その後、特別養護老人ホーム、認知症グループホーム、小規模多機能型居宅介護、有料老人ホーム、訪問看護ステーションなど地域ニーズに応え38事業を、弥彦村、燕市、新潟市で「もう一つのわが家づくり」の理念と「地域住民の利益を第一」に地域の福祉拠点として展開してきました。現在は「地域共生社会」作りの一助となるべく、基準該当在宅サービスでの障害児者の利用促進、弥彦村で20年来ボランティアさんで行ってきた配食サービスの地域拡充、各事業所の地域認知症カフェ、フードバンク活動、コロナ禍でのワクチン接種送迎支援なども行ってきました。今年度は、分水健康福祉プラザの大規模改修に合わせて、「仮称」地域食堂・子育て応援スペースなどを整備していきます。これらの活動は、地域の皆様と共に「誰もがサービスの受け手であり担い手」となる地域を目指す活動の一環です。

理事長就任ご挨拶



社会福祉法人
桜井の里福祉会
理事長
佐々木 勝則

■桜井の里拠点 新潟県西蒲原郡弥彦村大字裏3036番地 TEL(0256)94-3939

- 特別養護老人ホーム桜井の里
- デイサービスやひこ
- 小規模多機能ホームやひこの家
- グループホームこいて
- ケアプランセンター桜井の里
- 弥彦村地域包括支援センター
- 小規模多機能ホーム桜井の里・あかつかの家
- ケアプランセンター桜井の里・あかつか

■分水の里拠点 新潟県燕市新堀2479番地2 TEL(0256)97-7111

- 特別養護老人ホーム分水の里
- ケアプランセンター分水の里
- 燕市分水地区地域包括支援センター
- さくらい
- ダイニング
- 生きがい広場地蔵堂・シニアハウス
- デイサービスセンター分水の里さくら
- 訪問看護ステーション・桜井
- 燕市生活支援ハウス分水こまじり
- 生きがい広場地蔵堂・デイサービス

■地域密着型サービス拠点 新潟県燕市横田9349番地1 TEL(0256)47-1222

- 地域密着型ユニット型介護福祉施設はな広場・しまかみ
- 小規模多機能ホームはな広場・よこたの家
- 小規模多機能ホームつどいの家・桜町
- 小規模多機能ホームつどいの家
- グループホーム我が家
- グループホーム緑
- 小規模多機能ホームこいの家

退任のご挨拶



社会福祉法人 桜井の里福祉会
前理事長
柏原 雅史

この度、六月の任期終了に合わせ、二十余年となる理事長職を退任いたしました。今後は相談役として微力を尽くします。これまで支えていただきました、ご利用者ご家族、地域の皆様、行政の皆様、そして法人の役職員の皆様に、心よりお礼を申し上げます。初めて理事を拝命した時から、この二十数年の介護の世界の今昔を思い出します、隔世の感を覚えます。当時研修で他県の新しい施設を訪れたことを思い出します。街を離れた丘の上に美術館のような現代的な建物が現れ、玄関を入るとごもかしこもピカピカですが、施設の中はシーンと静まり返り、ご利用者は病院のようにベッドの上でじっとしておられました。つまり今思えば、どこにもご利用者の当たり前の「生活の姿」がなかったのです。

その後介護保険制度がスタートして、ようやく「介護」ということばが広まり、権利として介護サービスを受ける意識に変わってきました。桜井の里福祉会では、ご利用者の生活の場として「もうひとつのわが家づくり」を理念として、ご利用者お一人一人の願いを大切に「人として当たり前の生活」が送れますように、努力してまいりました。それを実現してきたのは介護の仕事 라이프ワークとして、誇りをもって働く職員のチームワークです。

佐々木勝則理事長は、介護の世界のトップランナーの一人として、この法人の道筋をつけ運営の中心となってきました。安心して後任を託すことができますので、今後ともご支援の程よろしくお願い申し上げます。

皆様には、あらためてこれまでのご厚情に深く感謝を申し上げ、退任のご挨拶といたします。

理事・監事の選任について

この度、理事・監事の任期満了に伴う改選がありました。

理事長・業務執行理事1名・理事2名・相談役1名の計5名が新たに選任され、業務執行理事1名・理事2名・監事2名が再選となりました（任期は令和5年6月16日

から令和7年第1回定時評議員会までの2年間）。

法人運営の重要な事項については、議決・同意を得ながら安定した運営を進めてまいります。

社会福祉法人桜井の里福祉会 役員・評議員名簿 (令和5年6月16日段階)

区 分	氏 名
1 理 事 長	佐々木 勝 則
2 業務執行理事・総合施設長	小 林 豊
3 業務執行理事・事務局長	高 橋 学
4 理 事	横 山 豊 治
5 理 事・施 設 長	片 山 達 也
6 理 事・事 務 局 次 長	永 井 摩 美
7 理 事・施 設 長	坂 井 真 由 美
1 監 事	本 多 克
2 監 事	吉 田 貢
1 相 談 役	柏 原 雅 史
1 評 議 員	山 崎 紘 一
2 評 議 員	後 藤 正 彦
3 評 議 員	安 達 卓 憲
4 評 議 員	本 多 孝 志
5 評 議 員	小 川 原 洋 子
6 評 議 員	日 野 宣 也
7 評 議 員	岩 尾 貢
8 評 議 員	樋 口 幸 子
9 評 議 員	小 杉 裕 子

※ 1. 理事・監事の任期は、令和5年6月16日から令和7年第1回定時評議員会まで
2. 評議員の任期は、令和3年6月22日から令和7年第1回定時評議員会まで

小規模多機能ホーム

こいけの家 開所しました

新規開設のご挨拶



小規模多機能ホーム こいけの家
管理者・主任
齋藤 香 織

令和5年7月1日小規模多機能ホームこいけの家が開所しました。

6月24、25日の内覧会では地域の方々が大勢足を運んでくださいました。地域の皆さまがこいけの家ができることを待ち望んで頂いていたことを嬉しく思います。その反面、地域の中でのこいけの家が果たすべき役割の大きさも、強く感じています。

小池地区の子供から大人まで誰でも気軽に立ち寄れる「こ

いけの家」に行ってみようよ。」

と思ってもらえるみんなの家になり

たいと思います。来てい

ただいた皆さまと、働いている

職員も居心地よく過ごせる居場

所作りを実践していきたいと思います。



足湯コーナー
地域の皆様も足湯を楽しんで下さい。



リビング1



リビング2



居室



浴室

新しいグループホームこいてでの生活がスタート

ただいま！新たなスタートへ



グループホーム こいて
ホーム長
古川 原 良 江

令和4年11月8日の落雷による火災から、冬を越し夏を迎えました。

ご利用者の皆様、ご家族様には多大なご心配・不安な思いをされたことと思います。様々な困難もありましたが、7月20日に新しいグループホームこいての完成、7月30日には引っ越し、長年慣れ親しんだ、きりめきの丘での生活がスタート致しました。火災当日は当法人の「デイサービスやひこ」での一泊、その後は「作業工房様」

「弥彦けいりん会館様」「綜栄館様」にご協力頂きながら生活してまいりました。当初は新しい環境がご利用者にどんな影響を及ぼすのだろうと心配致しましたが、ご利用者は、その都度、変わる環境にも、柔軟に適応する力を持ち、たくましく生きぬく力を持っているということが、今回の火災を通して一番強く感じたことでした。

弥彦村様をはじめ、多くの方々より、ご協力ご厚意頂きましたことを、この場をお借りし感謝申し上げます。このたくましいご利用者と共に、ここからが再スタートです。グループホームこいてでは地域の財産として、貢献していけるよう尽力してまいります。今後ともよろしくお願い申し上げます。



こいての日々

6月はイングリッシュガーデン、運動会では皆様一生懸命取り組み、七夕も願い事を書いて一緒に飾りました。7月30日には新しいこいてに引越しました。皆様日々楽しみを見つけながら穏やかに過ごされています。



小規模多機能ホーム桜井の里・あかつかの家

夏を感じられるイベントをご利用者と職員一緒に楽しみ、夏を満喫中です！



小規模多機能ホームやひこの家

室内外出（ドライブ）にて夏を感じることができ、みなさまの良い笑顔がみられています。



にとこみえる館に行ってきました



さあ、さあ



よりみち喫茶でのメニュー選び



玉入れ！



クレープ食べて運動会のおつかれ様会

令和5年7月1日より社会福祉法人桜井の里福祉会に採用されてから約24年間、法人内の様々な部署や職種を経験させていただき、世の中の動きも変化し続けています。様々な災害の発生、環境問題、新型コロナウイルス感染症の流行や少子高齢化問題等々。法人としても、歴史を積み重ねる中で、その時々で地域にとって必要とされる事業所の建設や運営をすすめてまいりました。

重責ではございますが、全力を尽くして職責を全うするとともに、これまで法人が積み重ねてきた実践を継続・進化させながら、ご利用者・ご家族・地域の皆様方に信頼していただける運営をしていきます。

社会福祉法人桜井の里福祉会ならびに特別養護老人ホーム桜井の里を今後ともよろしくお願いいたします。

社会福祉法人 桜井の里福祉会
総合施設長
特別養護老人ホーム 桜井の里
施設長
小林 豊



就任のご挨拶

桜井の里 たより

運動会

今年も各フロアで盛大に運動会が開催されました。ご利用者の皆様、職員共に良い汗を流すことができました。



日々の写真

調理しゅー！

ドライブ！



さー！



さと



綺麗に花が咲きました



紫陽花を見に行きました



アイスが冷たくていいね



アイスがとっても美味しかったです



今年も育っています

DSさくら農園

今年も野菜がいっぱい実り、皆さんで収穫しました。

一つ食べるかね？



このトマトどうだかね

祭 分水祭り

7月15日・16日に分水本町通りで開催されていた分水祭りへ出かけました。神社へのお参りや屋台での買い物を楽しめました。



願王閣までお参りへ



おいしそうな屋台がたくさん



お守りを購入しました



獅子舞に囃んでもらい健康祈願



お祭りは賑やかでいいね



生きがい広場地蔵堂
デイサービス
シニアハウス

就任のご挨拶



特別養護老人ホーム 分水の里
施設長 坂井 真由美

令和5年7月より特別養護老人ホーム分水の里施設長として就任しました坂井真由美です。
私はこの分水の里が開所された平成11年より分水の里で勤務をさせていただいております。最初は、短期入所フロアから始まり、長期入所フロア・デイサービスセンターで介護職・介護支援専門員等々で勤務して参りました。
そして、この令和5年7月からは、施設長という立場で法人理念である「もつひとつの我が家づくり」をめざし、分水の里がご利用者・ご家族・地域住民の方にとって、快適かつ安心して過ごせる居場所となれるように、職員と一緒によりよい施設を作り上げられるように努めていきたいと思っております。まずは、「コロナ禍前の日常に戻るよう」に、ご利用者・ご家族のつながりを大切に支援させていただきます。
また、分水健康福祉プラザの改修後は、子供世代から高齢者世代を含め、地域のニーズにあわせた活動を支援させていただきます。
まだまだ至らぬ点が多々ありますが、皆様のご支援とご協力を頂きながら頑張っていきたいと思いますので、どうぞよろしくお願いいたします。



七夕

皆様お一人お一人が願いを込め短冊を書き、笹に飾りました。また七夕の日に冷やし中華を召し上がり笑顔がみられました。



何にしようかな？



いつまでも元気でいたい



短冊に願いをこめて



願い事が叶いますように



七夕御膳（冷し中華）



豪華な晩ごはん

夏の定番のスイカを食べて、七夕には短冊に願い事を書いたりと季節を感じながら元気に夏を満喫しています！

七夕



健康、家族、笑顔などたくさんのお願いを短冊に込めました



七夕そうめんを食べて
一年間無病息災！



地域生活支援施設

グループホームつどいの家・桜町
小規模多機能ホームつどいの家

お出かけ



お庭の見事な白藤を見て来ました



寺泊で好きなアイスクリーム♪



イングリッシュガーデンに
行った思い出の一枚

日常風景



今年も梅ジュースを
作りました！



暑い夏には
スイカが最高！



大切に育てたガーデニング
のお花が綺麗に咲きました



夏祭りの提灯作り



お菓子作りに
挑戦！
上手に作れた
かな？



頑張って育てたオクラが採れました！
美味しそう～

令和5年7月1日より地域密着型サービス拠点「高齢者総合生活支援施設はな広場（地域密着ユニット型介護老人福祉施設はな広場・しまかみ、小規模多機能ホームはな広場・よこたの家）」の施設長に就任いたしました片山達也です。

地域密着型サービス拠点は「はな広場」をはじめ、「地域生活支援施設つどい」（小規模多機能ホームつどいの家、グループホームつどいの家、桜町）、「グループホーム我が家」グループホーム縁」そして7月1日に開設いたしました「小規模多機能ホームつどいの家」の5事業所を管轄しております。

それぞれが小さな事業所ではありますが、それぞれの特徴を活かしながら地域とのつながりを持ち、法人理念である「もうひとつのわが家づくりをめざします」を体現化させていけるように取り組んでまいります。

燕市内においても少子高齢化や核家族化が急速に進行する中、地域福祉を取り巻く環境は大きく変化しております。第4次燕市地域福祉計画（燕ささえあいプラン）が策定され令和5年度の取組が始まりました。地域共生社会の実現に向けては様々な高齢者分野に限らず地域課題に対応できるように各事業所の対応力の向上も必要だと感じます。まずは各事業所が地域の一員としての役割をしっかりと果たしていけるように取り組んでいきたいです。



片山 達也
地域密着型サービス拠点
高齢者総合生活支援施設 はな広場
施設長

就任のご挨拶

はな広場

日々の様子



何をお願いしようかな



人生100年！



イングリッシュガーデンへ
お出かけしました



輪投げ上手く出来るかな～？



ヨーヨー釣りを
楽しみました！



昔よく
作ってたえし



海老焼きは、
一番人気！



グループホーム 我が家

我が家の毎年恒例のバーベキューでは、暑さに負けないくらいの笑顔であふれました。昔を思い出しながらのちまき作りも楽しめました。

僕も食べたニヤン♪



ちまきの
出来上がり♪



バラを見に行ったり、海までドライブも行きました



分水祭り、今年ももちろん行ってきました



グループホーム 縁にし

最近制限の緩和も見られ出掛けたりする機会が増えてきました。しかし、うだるような暑さが続く為縁の皆様には熱中症に気を付けながら過ごして頂いています。



八王子の白藤、とてもきれいでした



～縁の七夕～



スイカ割り、皆様思いっきり叩かれてました！



夢・キラリ 職員紹介!



グループホーム 我が家

介護職員 成田美代子

私は、5人の子供たちを育てながら、介護の仕事をしております。子育てに悩んだ時は、子育ての大先輩である、ご利用者に相談し「今だけだよ。大きくなったら、楽になるから」と言ってもらったり、子供たちが具合悪く仕事を休むことも多々ありますが、周りの職員に助けて頂きながら、子育てと仕事の両立をしています。

時間に追われる日々ですが、子供の野球の応援に行くことが楽しみです。子供たちが泥んこになりながら、ボールを追いかける姿に元気をもらいます。

一人が上手くても勝つことができないチームスポーツですが、仕事も同じで、職員が1つのチームとなり、ご利用者と関わることで、より良い生活のお手伝いが出来るのではないかと思います。WBC日本代表のようなチームワークで、ご利用者が楽しんで生活して頂けるよう、お手伝いしていきたいと思っています。



小規模多機能ホーム はな広場・よこたの家

看護職員 小島増子

入職した頃は介護施設で働く事に戸惑う事も多かったですが、ご利用者の皆様と過ごす中で微力ながら看護師としてお手伝いできることに喜びを感じています。

自宅に帰り4人の子育ての真っ最中であり、自分の手が2本じゃなくて10本くらいあれば良いのに!と思う毎日です。そんな中で「はな広場」の同僚の皆さんと子育ての苦労も笑って話せるので、とても支えられています。

今は仕事も育児も無理せず楽しみながら続けていきたいです。



特別養護老人ホーム 分水の里

介護職員 山上幸江

介護の仕事に就いて、今年で8年目になりました。当時、小学生だった息子も今年成人を迎えます。コロナ禍になる前は、息子も趣味の将棋で施設ボランティアに参加したこともあり、施設で担当になったご利用者の娘さんが、息子の保育園時代の先生という再会もありました。

燕市に嫁いで20年になります。たくさんの方々に支えられ、子育てをしてきました。お世話になった地域の方の力になれるよう頑張っていきたいです。毎日、ご利用者様と「わっはっは」と笑い合えることに幸せを感じています。

今後は楽しくやりがいのある「介護」の仕事の魅力を知ってもらい、仕事に携わってみたいと思ってもらえるような職員になりたいです。



社会福祉法人 桜井の里福祉会

本部総務課主任 成澤康宏

私は2022年7月に入職し、現在は本部の総務課でお仕事をさせて頂いております。裏方として法人を支える業務に従事する中で、忙しい日々が続いておりますが、周囲の方々のご協力のおかげで、何とか仕事に取り組んでいます。

プライベートでは、以前は定期的に旅行に出かけていたが、ここ数年新型コロナウイルスの影響で遠出が出来ていません。以前は、関東や関西、四国、九州地方など友人と一緒に旅行に行くこともありましたが、現在は、健康にも気を遣いながら、日常的に運動を取り入れています。

未だに日常的な制限が続いていますが、出来ないことよりも、出来ることに目を向けつつ、日々笑顔で過ごしていきたいと思っています。



デイサービスセンター 桜井の里

介護職員 五十嵐彩音

桜井の里に入社して6年経ちました。

入った当初は分からないことだらけで、毎日反省の日々でした。その時に会ったのがえちゴンという柏崎のゆるキャラです。まん丸の目、にっこりスマイルのお顔という普遍的なキャラですが、何処か魅力的でその姿を見ているだけで、日々の疲れが癒されます。

今も失敗する時もありますが、反省ばかりせず、えちゴンの動画を見たりして癒されることで気持ちを切り替えて楽しく仕事させて頂いています。

昨年まではコロナ禍でイベント等も少なく、中々会いに行けなかったのですが、これからはコロナで会えなかった分沢山会いに行きたいです。

法人本部総務課



総務課の日常業務風景



求職者への法人PR

お問い合わせ

〒959-0318 新潟県西蒲原郡弥彦村大字麓3036番地
TEL (0256) 94-3939 FAX (0256) 94-2552
E-mail : sakurai-honbu@sakurai-fukushi.or.jp



特別養護老人ホーム 分水の里 ショートステイてまり

介護職員 海津崇行

私が介護職として働き始めはや8年程が経過したでしょうか。昨年末に初めて部署異動を経験し、以前と違うスタイルでの仕事になりましたが未だに分からないことが多く、同僚に支えて頂きながら日々働いております。

プライベートでは登山を嗜んでおりますが、今年度は少し事情あり山行回数が少ないです。目標として来年度は山行回数を増やし、百名山の登頂数を少し伸ばしたいと思っています。ちなみに好きな山は鳥海山です。

また、冬に運動量が落ちてしまうので冬山も良いですが、何か運動が続けられる様に考えようと思います。

この2ページは、職員の夢や思いに、あるいは法人の取組などにフォーカスしていくページですので、今後ともご声援どうぞよろしくお願いいたします。



分水健康福祉プラザの新たな地域支援に向けて

①デイサービスもみじの閉鎖のお知らせ

デイサービスセンター分水の里もみじは平成3年に前身の分水町社会福祉協議会のデイサービスセンターとして（旧分水保健福祉センター内）開設されました。平成12年4月に介護保険制度の開始と同時に社会福祉法人桜井の里福祉会に引き継がれ、名称を「デイサービスセンター分水の里もみじ」として運営を開始しております。分水町社会福祉協議会のデイサービスセンターの時から地域の方が多数ボランティアとして来られており、デイサービスセンター分水の里もみじに引き継がれてからも様々なご支援をいただいております。

平成31年4月には地域ニーズの変化もあり、通所介護から地域密着型通所介護へ事業形態を変更し、定員や営業日の縮小を行いました。その後も継続して法人内で地域のニーズに合わせた事業の再編を検討する中で、令和5年6月30日をもってデイサービスセンター分水の里もみじを閉鎖させていただくことになりました。これまで沢山のご支援をいただき、ありがとうございました。



平成10年4月のご利用者と共に



分水町社会福祉協議会時の送迎風景

※写真の使用は燕市社会福祉協議会様に許可を得ています。



最終日のご利用者と共に（令和5年6月30日）



最終日セレモニーの閉所風景（令和5年6月30日）



②分水健康福祉プラザ地域交流スペース整備及び地域貢献活動について

デイサービスセンター分水の里もみじの閉鎖に伴い、分水健康福祉プラザの改修工事を行います。（令和5年11月末完了予定）改修工事後は地域貢献活動としてこれまで取り組んできましたフードバンク事業のみならず、新たに地域交流スペースの整備を行います。

①フードバンク「フードバンク燕・弥彦」の活動拠点として再構築する。（令和3年8月より活動）

②新たに「地域食堂（仮称）」の整備、実施。全世代を対象とする。

③新たに「子育て支援活動スペース」の整備。子育て世代のみならず世代を超えて交流ができる活動の場とする。

- ・畳スペース。幼児用トイレ設置。小さなお子様安心して遊べる場の提供を行う。
- ・小学生、中学生の放課後の居場所の提供を行う。
- ・子育て支援サークル（自主活動グループ）の活動場所の提供を行う。
- ・分水老人クラブ連合会の活動場所の提供を行う。
- ・子育て世代含めて福祉の相談窓口（地域包括支援センター）を設置する。



入札結果のお知らせ

分水健康福祉プラザ大規模改修工事及び特別養護老人ホーム分水の里便所改修工事の入札は、令和5年7月14日に指名競争入札として15社を指名し、「コスモ建設株式会社」が「89,500,000円（税別）」にて落札

編集後記

新型コロナウイルス感染症が感染症法上の位置付けが5類感染症となって初めての夏となりました。以前に戻った夏休み、夏祭り、旅行、帰省と楽しんでいただけることと喜んでいます。しかし、忘れないで下さい…

